

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945年6月

Q. どこでしょうか？



(写真番号：91-09-2をカラー処理)

A：那覇市安里公民館付近



地図を表示

シュガーローフ・ヒル付近からみた壺屋・与儀方面です。手前左側の丘は、現在のはちまんむい公園、その背後に現在の国際通り、グシク山*、軽便鉄道軌道、安里川がみえます。写真の遠方、煙がたちこめている▼は与儀集落付近、▼は壺屋集落付近です（本リーフレット No.14 参照）。写真中央部は、現在の安里公民館付近と思われ、はちまんむい公園が隣接しています。

1945年2月28日



表紙紙で示された場所を米軍上陸前
の那覇市安里付近を空中写真(1945年2月)から
みます。表紙の写真は赤矢印の方向から
撮影したものと思われる。▲はシュガー
ローフ・ヒル、▲安里八幡宮・沖宮、▲
現在のはちまんむい公園、▲現在の国
際通り、▲グシク山、▲軽便鉄道軌道
です。▼は鳥居、▼丘の木立、▼小
道の位置を示します。

(資料コード: KS00000073 [ON24146 005-2,007-2] を接合)



写真① 安里八幡宮の西側の丘(ニーケーモー**か)の高台からシュガーローフ・ヒルを撮影しているようです。撮影位置の特定は、▼で示した木立でした。▼は写真④⑤⑥にも出てきます。(1945年6月)(写真番号: 91-13-1)



写真② 写真①と同じ位置から▲現在のはちまんむい公園を撮影しています。▼の切株や草木などが①と共通しています。安里八幡宮・沖宮の鳥居が▼にみえます。(1945年6月)(写真番号: 91-09-4)



写真③ 高台からやや下がったところで撮影しているようです。安里公民館付近と思われます。左側の丘は▲現在のはちまんむい公園、▲現在の国際通り、▲グシク山、▲軽便鉄道軌道、▲安里川がみえます。(1945年6月)(写真番号: 91-09-2)



写真④ 場所特定のヒントは、安里八幡宮・沖宮の▼鳥居でした。背後に写真①で紹介した▼木立がみえます。③の▼小石や板切れのようにみえる物と共通しており、位置関係がわかります。(1945年6月)(写真番号: 91-09-1)



写真⑤ 場所の特定には写真①④と同じ▼の木立がヒントになります。安里八幡宮の西側の丘(ニーケーモーか)を下からみた写真と思われる。(1945年6月)(写真番号: 91-13-3)



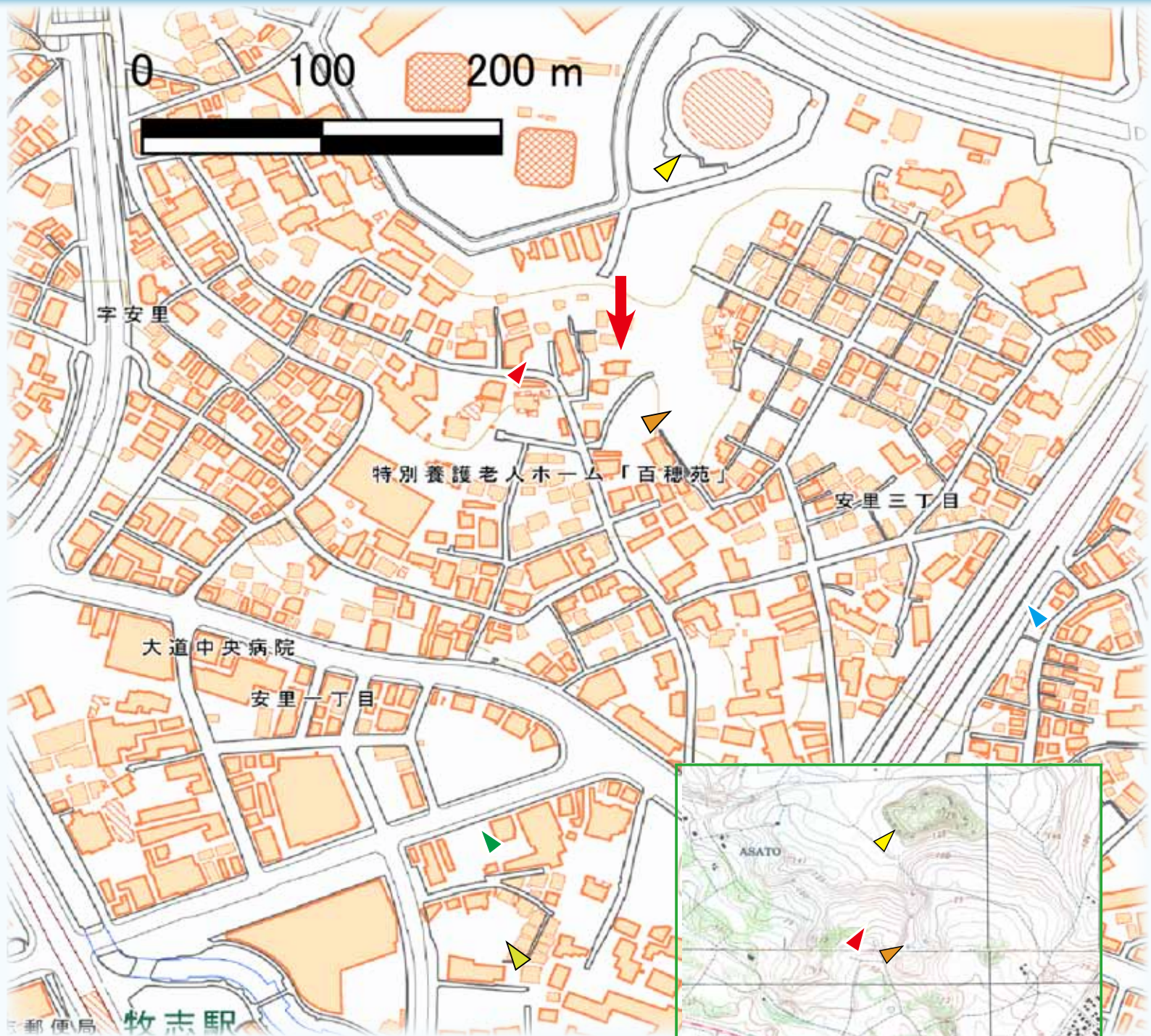
写真⑥ ▼の木立でわかるように写真⑤と連続しています。▼に安里八幡宮・沖宮の鳥居が見えます。境内にあった樹木が残っています。(1945年6月)(写真番号: 92-12-4)



写真⑦ ▼の木立から写真⑥と連続しています。①の高台からはシュガーローフ・ヒルがみえますが、この位置からはみえません。(1945年6月)(写真番号: 91-13-2)



写真⑧ 現在のはちまんむい公園付近です。▼小道の位置などから②⑦ともつながります。ここに示した写真は全てつながっているといえそうです。(1945年6月)(写真番号: 91-10-1)



図① 当時の地形上の位置（1951年米軍作成 1/4,800 地形図）（資料コード：0000108935【AMEKU SHEET 135, TSUBOYA SHEET 140】を接合）

前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。地図上の矢印や三角印は空中写真とほぼ同じ位置になります。また、右の図①は、当時の地形図を示し、同じ位置に三角印を入れています。

注 * 那覇市史 1979『那覇の歴史民俗地図』
 ** 『安里誌』刊行会 2011『那覇市安里誌』

昔おきなわ風景探索 No. 15

発行日：令和7年（2025）10月25日
 編集執筆：当山昌直（1951年生）
 発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内
 電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879
 増刷版

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

